

# 災害の心構えと事業継続への備え



## 株式会社ツルタ

業種	所在地	代表者名
カー用品・部品小売業	西桂町	鶴田 長秀
設立年月	従業員数	
昭和54年9月	28名（令和5年10月時点）	
ホームページ		
<a href="http://kk-tsuruta.jp">http://kk-tsuruta.jp</a>		

## 1 会社・事業の概要

弊社は1976年の創業以来、自動車用品の小売販売業を営んできた。お客様のライフスタイルのニーズに合ったカー用品をご提案し、ビジネスを通して地域社会に貢献できる企業となることを目指している。

## 2 計画策定のきっかけ

西桂町商工会より、防災対策強化のため、事業継続力強化計画の研修会に参加し、その後計画の策定に至った。次の点を重視して策定した。

- ・災害時や感染症発生時には人命を最優先すること。
- ・西桂町の地域社会の防災に貢献すること。
- ・災害発生の際、事業の継続や早期再開を目指しお客様や関係先への影響を最小限にとどめ事業を継続させること。

## 3 計画策定の取組について

- ・弊社の事業は、お客様およびお車と対面して行うものであるため、災害や感染症発生時にも可能な限り出社が求められる。そのため、これを踏まえた計画策定が必要だった。
- ・対面接客が求められる弊社では、感染症対策として予防対策や受付、接客、作業手順等のマニュアルを作成し、感染症の拡大を防ぐとともに事業の継続を目指した。
- ・当事業場は会社全体の本部が置かれており、事務所内には重要データが多く存在している。クラウドに移行可能なデータは移行を実施し、さらに移行の検討を行っている。

## 4 計画に基づく実施状況

- ・防災マップの確認・避難経路の確認



- ・防災ヘルメットの整備・納税方法や支払方法を電子システムに変更または移行中
- ・定期預金や積立等で計画的な資金準備に努力し、また日頃から商工会の指導員や金融機関の担当者との積極的なコミュニケーションを心掛けることにより適切な情報を得られるようにすること。
- ・天候状況に注意を払い、特に台風や風雨が予測される日には、店外に置いている物品や看板、のぼり旗などの設置判断を行い、こまめに片付けを実施している。

## 5 計画策定の効果

- ・地震、水災、感染症に対する心構えを常に持つようになった。
- ・自然災害の可能性が身近にあることを認識し、事前対策の重要性を実感した。
- ・弊社の事業活動が地域や取引先に与える影響について考えるきっかけとなった。

## 6 今後の取り組み

データ保管のクラウド化や災害時の設備復旧費用の検討など、資金面での課題は大きいですが、取り組んでいきたいと考えている。

## 7 計画を策定した感想

書式の項目が多く複雑な印象がありましたが、商工会指導員のアドバイスとご協力によりまとめることができました。

## 8 計画策定を検討されている事業者に対してのアドバイス、メッセージ

事業継続力強化計画の策定は、自社の潜在する災害に対する課題を洗い出すきっかけとなり、大変意義のある取り組みだと感じました。

## 9 策定支援機関から一言

事業継続力強化計画の策定にあたり、連絡網の見直しや出勤可能な社員の確保など、実効性のある計画を立てた。西桂町商工会では、小規模事業者の災害対策と早期復旧の支援を目的として、町と共同で「事業継続力強化支援計画」を策定し、令和3年3月に山梨県で初めて認定を受けた。

また、令和4年3月には「西桂町商工会事業継続(BCP)計画」を策定し、町との連携を強化して災害対策を進めている。この取り組みは、小規模事業者の災害復旧を支援し、地域経済の活性化に貢献することを目指している。

(西桂町商工会 指導員 近藤)

